



もっと

つながれ!笑顔

令和7年11月28日(金)

発行責任者

校長 浦元 奈美

【児童数】

男子69名 女子57名

計126名

お母さんへの思い ～意見発表会～

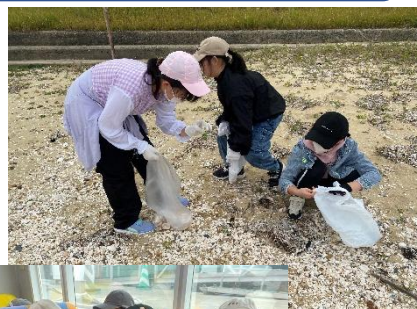
11月8日(土)、唐津市青少年意見発表会が行われ、本校から、6年生の徳永結菜さんが、「お母さんありがとう」という題で発表をしました。思春期に差し掛かり、情緒が不安定になってしまう自分とお母さんとの関係が心配になる時期。そんな時期に、お母さんの性格、仕事ぶり、子どもへ関わる姿を思い浮かべ、お母さんを改めて見直し、感謝の気持ちが高まったことを素直な言葉で表現しました。聞いている人の心を揺さぶる素敵な発表でした。

第14回 唐津市青少年意見発表会大会



海にかかわる! 「神集島ビーチコーミング」(3.4年)

11月13日(木)3.4年生が、神集島に出かけ、ごみや貝殻を拾って、海岸をきれいにしました。1.2年生と5年生に続いての取組です。神集島は、神功皇后が神様を集めて海の安全を祈願したのが由来の「神の島」。海中鳥居が構える住吉神社や万葉集に収められた7首の歌碑、多くの古墳もあり、古代ロマンの漂う場所です。今は、神集島を探求する活動はできていませんが、校区である神集島をもっと知って、よさを守り続けていけるといいなあと願っています。いつも、あたたかく迎えてくれる神集島の方々、ありがとうございます。



海を楽しむ! 「海洋体験」(5年生)

10月30日(木)5年生が、ヨットハーバーで、海洋体験を行いました。天候の関係で延期が続いていましたが、なんとか実施することができました。海洋体験は、唐津ならではの体験! シーカヤックにヨットに、ヨットハーバーの方々からの指導を受けながら、マリンスポーツを笑顔いっぱい楽しんでいました。



思いを絵画に・・・ 学童美術展審査結果

学童美術展の唐津市審査が行われました。結果は以下の通りです。学童美術展に向けての取り組みでは、低学年は、想像を広げながら自分の思いをのびのびと表現、中・高学年は、湊の町や学校の素敵な場所を自分らしいタッチで表現しました。県審査で入賞した作品は、校舎1階職員室付近の廊下に、地区入選の作品は、東階段の踊り場に掲示しています。ご来校の際は、ぜひ、ご覧ください。

県 特選	6 年	西元 結花 さん		
県準特選	1 年	保利 海和 さん	2 年	江口 雷輝 さん
	4 年	中山 笑姫 さん	4 年	本弓 実玖 さん
	6 年	山下 久海心さん		
入 選	1 年	鮎川 優心 さん	1 年	高崎 皇亥 さん
	2 年	麻生 涼夏 さん	2 年	中野 晟太郎 さん
	2 年	浜本 梨希 さん	3 年	中山 明姫 さん
	3 年	大和 然 さん	3 年	八並 光頼 さん
	4 年	岸田 健助 さん	5 年	坂本 いつか さん
	5 年	山下 紗 さん	5 年	吉田 惟吹 さん
	6 年	高崎 帆海 さん	6 年	戸川 珠里 さん

命をまもる！ 不審者対策避難訓練

11月21日（金）、校内に不審者が侵入したことを想定した避難訓練をおこないました。不審者役の警察官（湊の駐在員である松尾さん）が教室に入ろうとするところを、複数の職員がさすまたをもって距離をとり、不審者を取り押さえました。職員が対応している間に2年生、1年生が体育館に避難。通報を受けた職員が校内放送で、他の学年の児童と職員に知らせ、全員体育館へ避難しました。全員の無事を確認した後、松尾さんから、不審者から身を守るための合言葉、「いかのおすし」について聞きました。「いか」ない（ついていかない）、「の」らない（知らない人の車にのらない）「お」おきな声を出す（助けを求める）、「す」ぐにげる（すぐに逃げる）、「し」らせる（周りの大人に知らせる）の5つの行動です。自分の命を守るために、なるべく一人で遊びに行かないこと（複数で行動すること）も話されました。

